

## ★アジア・アフリカ人民連帯機構（A A P S O）第 11 回大会の最終宣言

2018 年 11 月 14～16 日、モロッコのラバトで開催された会議で採択され最終宣言は以下の通り。参加は、エジプト、バングラデーシュ、イラク、日本、レバノン、モロッコ、ネパール、パキスタン、ロシア、スリランカ、チュニジア、英国、ベトナム、の 13 カ国の人民連帯組織。

A A P S O 各国代表は、ラバトでの第 11 回大会に参集して最終宣言を採択し、持続的な発展の前提条件である平和の促進を望む A A と各国人民との連帯を強化していく必要があると宣言した。

巨大な危険が世界を脅かしている。数々の紛争が拡大し、政治的な緊張が高まっている。とりわけ大国間の紛争には、第二次大戦後経験したことのないような軍拡競争の危険が伴っている。米国の新しい小型核兵器が世界を脅かし、新しい冷戦と小型核兵器の使用による熱戦に発展する危険が高まっている。われわれは、世界から大量破壊兵器を一掃するよう強くよびかける。核戦争の危険は第二次世界大戦の終結にあたっての熱いスポットになったのだ。この軍拡競争にはまた、トランプ政権が発動した貿易戦争が伴っている。とりわけロシア、中国、イランにたいして仕掛けられ、メキシコやカナダ、湾岸諸国や一部の欧州諸国にも発動されている。

われわれはこれらの重大な危険が国際の平和と安全を脅かしていると警告する。また米国が特に中東地域で以前から始めた国家を解体する陰謀について警告する。その狙いは、国民国家の一体性を掘り崩し、小国家に分割して外国支配と権力の押し付けを容易にすることにある。また米国がこの地域で作ろうとしている新しい戦略的軍事同盟を警戒する。

各国人民にたいし国家の一体性を維持するため国家の結束を最大限維持するようよびかける。そのためには国家が陰謀の影響を受けないようにすることが必要だ。性別や宗教、人種、民族、セクト、階級、地理、政治信条の違いをこえた平等を原則とする市民の原則を良い統治と法の支配とともに強固にし、信教と表現の自由など基本的自由を保障しなければならない。社会正義の原則にもとづく新しい社会契約を樹立することが必要だ。また新興諸国との間に協力の橋をかけ、諸国家間の経済協力を増進することで持続的な発展を達成するようよびかける。そうすれば相互利益を引き出し、世界のなかで重要な経済パワーになるであろう。技術的な発展をとげた諸国には、それを他の A A 諸国が発展のため

使用できるようにすることをよびかける。各国はグローバルな経済場裏にともにたっており、グローバルな貿易と物とサービス、資本の自由な流れが保障されている。発達した諸国は、各地に生まれつつある邪悪な内戦から人民を守り、発展途上諸国をサポートする義務がある。テロリズムが多くの諸国と大陸に影響を与えたが、ともに協力して立ち向かうことが求められている。

宗教や教義上の過激主義に真剣に断固として立ち向かい、彼らに財政支援や訓練、武器を施し、テロリストを使い、彼らに平たん支援や聖域を提供している勢力にたいする真剣で断固とした闘いが求められている。残忍な最悪のテロのルーツを根絶するためには彼らを暴き出し処罰しなければならない。エジプトの人民と勇敢な軍によるテロリズムとのたたかいに全面的に支持を表明し、達成された成功と払われた犠牲者たちを称賛する。平和と安全を求める世界の人々とAA諸国民によるテロとのたたかいに連帯し、支持する。

政治的、経済的、社会的なセクトと民族紛争の政治的、平和的解決にたいする一貫した決意を再確認する。AAで直面しているそれらの紛争や問題や危機は人民連帯を阻害し、協力を壊して、脅威にたちむかう連帯の力を弱める。国家を促して国民に尊厳ある生活を保障させなければならない。テロとたたかうシリア人民への支持を呼び掛ける。主権と独立、団結と領土保全の維持が必要であり、人民が自由で民主的な選挙で選択をする権利を支持する。シリアを解体するあらゆる計画を拒否する。政治プロセスの前進でシリア危機を解決すべきだ。国連安保理決議 2245 とソチでのシリア国民対話会議の諸決議とともに、占領下のゴラン高原を解放するシリア人民の権利を再確認する。

リビア国民が各地を支配している武装勢力を一掃しながら続けている対テロ戦争への支持をよびかける。テロとの苛烈な闘いを続けながらリビア国民の一体性と領土保全をめざすリビア軍への支持をよびかける。イエメン危機の交渉による平和解決をよびかける。それによってイエメンの統一を確保し、現在の悲劇的な状況から人民を救い出し、国家のインフラを確保して外部からの干渉を阻止できるだろう。テロ組織の残党にたいするイラクの不動の立場を強化し、強力な民主的市民的国民国家を建設するようよびける。

インドとパキスタン紛争の平和解決と対話を通じたカシミール問題の解決をよびかける。ミャンマーのロヒンギヤの人々にたいし非人道的な犯罪がおかされている。これから逃れた百万人以上のロヒンギヤの人々の保護をよびかける。難民にたいするバングラデーシュの保護を称賛する。難民危機の深刻さを警告し、

異なったグループにたいする宗教を理由にした迫害を拒否する。南シナ海の緊張について懸念を表明し、1982年海洋法条約と海洋法にしたがった紛争の平和解決の重要性を強調する。南北朝鮮の平和を支持する。アフガン戦争の終結とテロからの救出をよびかける。

パレスチナの人民はこれまでに独立を達成していない世界で唯一の人民である。米国による制裁と大使館のエルサレム移転の一方的な措置を完全に拒否することを宣言する。これは国際的な諸決議と国際社会全体への挑戦である。国際機関がそれぞれの役割を果たしてイスラムとキリスト教の宗教施設としてのエルサレムの遺産の保持につよめるようよびかける。米国による国連パレスチナ難民救済事業（UNRWA）予算への資金停止の決定を非難し、すべての諸国が機関による重要な人道事業を継続するようよびかける。イスラエルのガザ侵略を非難する。パレスチナ人があらゆる形態と手段でシオニストの占領に抵抗する権利を再確認する。また1967年以降のガザと西岸の占領地に東エルサレムを首都とする国家を建設する権利を支持する。ガザの包囲を解除し、検問所を開き、パレスチナの囚人と拘束者を解放するよう求める。占領地でパレスチナ人に加えられたイスラエルの重大な人種犯罪と人権侵害にたいする包括的な国際的調査をおこなうよう求める。

占領地のパレスチナ人とともに難民の帰還権を支持し、近隣諸国への移住を拒否する。2002年のベイルートでのアラブ首脳会議でのアラブ平和提案を堅持し、実行する決意を宣言する。パレスチナ問題とイスラエルと結ばれた諸合意にかんするパレスチナ解放機構（PLO）中央評議会の決定を支持し、すべてのパレスチナ諸党に和解を完成するよううながす。この点についてのエジプトの努力に感謝する。イスラエルが繰り返しているレバノン領への攻撃や、シリア空爆に使われるレバノン領空の侵犯を非難する。レバノンの自衛と占領地解放の権利を再確認する。石油資源に投資するシリアとレバノンの権利を確認し、これにたいするイスラエルの脅迫を拒否する。レバノンでの民主的な国民国家建設とともに、外部からの干渉の根拠に道をひらくセクト主義の体制を終わらせる人民の闘いを支持する。

アルジェリアとモロッコの対立を終わらせる平和・政治メカニズムを創設するモロッコ王国の提案を歓迎する。これはわれわれが先におこなった紛争の平和解決と戦争回避のよびかけに応えたものとする。アルジェリアにたいしこの提案に積極的に答えて両国間の対話を始めるようよびかける。

AA人民連帯組織の活動を強めて人民の願いを実現する責任と役割を果たすため、ロシア連邦と中国にたいしAAPSO組織と仕事で創設時のような積極的な役割を回復するよう呼びかける。

書記局にたいし世界の平和愛好、民主組織との協力関係を一層強めて、アフリカ人権委員会や国連人権委員会など地域的、国際的な組織でオブザーバーとして積極的に参加するよう呼びかける。書記局と各国員会にたいし活動のなかで女性と青年の役割を強めるよう促す。書記局にたいし、サイコス・ピコ協定を記念するイベントを組織して、国民国家解体の歴史的ルーツを検討するよう求める。

最後に今大会を協力して組織し主催したモロッコ連帯委員会と政府および人民組織に感謝したい。2020年の次回大会をバグダッドで開催するとのイラク代表のイニシアチブを歓迎する。世界平和と正義をもとめるAA人民のたたかいに栄光あれ。戦争ない世界、テロのない世界、陰謀のない世界を。希望の未来にむけた連帯を維持しよう。

ラバト 2018年11月14～16日

(以上)